

単元名：

「ドーピングとスポーツマンシップ」

(全 時間扱い中 第 時)

授業日時 2021年6月16日(水)第1校時

授業学級 2年B組

授業会場 2年B組教室

授業者

指導者

(1) 主眼 (授業の手立て&ねらい)

(○○の子ども達が) ○○の場面で, ○○を通して, ○○を□□することができる/できるようになる。

スポーツには負の一面としてドーピングの問題がはびこっていることを知り、その原因や影響について考えることを通して、スポーツにおける真のフェアプレーの精神とは何なのかを、サッカーと野球の動画視聴を通じて自分の考えを持つことが出来る。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1.オリンピックにはドーピングの問題が隠れていることを伝える。	ア オリンピックだろう。 イ オリンピックは開催できるのかな。または、無観客で開催されるのかな。	※「今年の夏には大きなスポーツイベントがありますね。」  ※オリンピックを始めとした、スポーツイベントには多くのメリットがある反面、ドーピングなどの負の一面があることを認識させて学習課題を設定する。 ※資料1を配布。	5
	2.プロスポーツにおけるドーピング問題の事例を提示する。	ウ プロスポーツでは、多くのドーピング問題が起こっていることに気が付いた。		
		【学習問題】なぜドーピングが起きてしまうのだろうか。		
			【学習課題】ドーピングが起こる原因やその影響、また、スポーツマンシップについて考えよう。	

展開	4.【学習カード①】なぜドーピングは禁止されているのかを考えて記入する。 (個人3分、周りの人と2分) 全体で発表する。	資料1を基にドーピングの及ぼす問題について考察することが出来る。 オ 競技者自身の健康を害する可能性があるからだろう。 カ フェアプレーの精神に反することになるからだろう。	※学習カードを配布  ※選手の健康、フェアプレー、社会への悪影響などに分類してまとめる。	10
	5.【学習カード③】勝つためにはどんなことでもして良いのか。 (動画視聴) 個人で5分間記入。	キ ルールに反していない限りは、勝利の追及をすることは認められるべきだと思う。 ク プロスポーツ選手である以上、多くの子供達の目標となる存在なので、最後まで全力でプレーするべきだろう。	※ドーピング以外にも、フェアプレーの精神に反する可能性のある事例について考える。 ※自分たちの部活の場合に置き換えても考えられる様に促す。	15
	賛成派と反対派に分かれて4~5人で近くの人とグループになり話し合う。	コ プロスポーツ選手である以上、多くの子供達の目標となる存在なので、最後まで全力でプレーするべきだろう。	※動画を視聴しながら、試合の状況やルール(敬遠)などについて説明する。 また、スポーツに関する知識がほとんど無い生徒でも状況が理解出来る様に心掛ける。	25
	賛成派、反対派それぞれのグループの意見を発表。	サ 自分と同じ意見の人と話し合うことで考えをより深めることが出来る。	※プロ選手と高校球児の違いなどがどの様に影響するのかも考えさせる。  ※敬遠や時間稼ぎのプレーを肯定する側と否定する側で分けて、それぞれの意見を聞く。	30
		シ 自分とは異なる意見についても理解できる。	※この問題には正解はなく、一人一人が自分なりの考えを持つことが出来る様に促す。	35
終末	7.まとめ 学習カードに本時の感想を記入する。	ス ドーピングをすることは、選手自身の健康を害するのみならずスポーツの価値を失うことにもつながると考えました。  セ スポーツのフェアプレーとは、ルールの範囲内で、勝利を出来る限りの手段を使って追及するべきだと思います。	※自身の部活動やクラブ活動等に結び付けて考える様に促す。	40
		【本時の評価(評価する対象)】 ドーピングの危険を理解すると共に、スポーツにおける真のフェアプレーとは何なのかについて自分なりに考えることが出来る。	45	